

「静岡」

静岡の「デコ活」の普及を 地元の確かな企画・提案力が後押し

静 岡市は清水エスパルス（Jリーグ）と連携し、脱炭素に繋がる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」の推進のため、様々な啓発活動を行っています。このデコ活とは、2050年カーボンニュートラルの実現および2030年度温室効果ガス削減目標の達成に向け、環境省などが中心となって推し進めている活動のこと。国や自治体・企業などの団体と国民が一体となり、一人ひとりが具体的なアクションを起こすための知恵を出し合って、脱炭素につながるライフスタイルや行動に変えていけるように働きかけをします。

静岡市と清水エスパルスが連携して取り組んだ「デコ活」の一つとして、「静岡らしさを取り入れたデコ活・環境活動をPRするキャラクター」デザインの公募が行われまし

た。静岡市内の小学生から募集したところ300件以上の応募があり、市民・エスパルスサポーターの投票によりグランプリ・準グランプリ・エスパルス特別賞を決定しました。

このうちグランプリに選ばれた作品が「デコミドリン」というPRキャラクターとして始動します。その始動に当たってプラッシュアップのプロセスを、静岡イーブックスを運営する星光社印刷株式会社が担当しました。同社は清水エスパルスのクラブパートナーであり、各種印刷物の作成や小学校への発送業務のノウハウを持ち、イラストレーターとのコミュニケーションがスムーズであることにより声が掛かりました。

印刷物を作るという従来の業務に加え、今回のキャラクターの完成度を高めるといったような、クライアントとともに考える力、企画・提案力



を持っていることが印刷会社には強力な武器になるのではなかろうか。そのためにはアンテナを張り続け、期待を超えるレスポンスを返していくよう努めることが重要だと再認識させられた一件です。

「ジャパン」

印刷業の未来を話し合う 情報交換会 JAM 2025 in 高知

一般社団法人ジャパンイーブックス活用研究会では、年に一度、加盟29社が一堂に会する情報交換会「JAM (Japan ebooks Acceleration Meeting)」を開催しています。本年度は高知県で実施し、全国から約90名が参加しました。印刷会社ならではの新たな価値発見や具体的な収益化施策について、自由闊達な意見交換が行われました。

ゲストにデザイナーの梅原真氏、株式会社講談社編集部の岩間秀和氏をお迎えし、「まんがでまちおこしの県・高知」らしさあふれる内容となりました。



ジャパンイーブックス活用研究会は、今後も印刷会社だからこそ強みを活かし、業界全体の価値向上と各地域の実情に合わせた情報戦略の立案に取り組んでいきます。

ジャパンイーブックスは
全国29都道府県で活躍中！

<http://www.japan-ebooks.jp/>

※令和7年12月現在

ジャパンイーブックスは全国29都道府県で活動しています
〔事務局〕 Tel. 0985-51-2745 (株式会社宮崎南印刷 内)

■現在の加盟都道府県: 北海道/山形県/秋田県/宮城県/福島県/茨城県/栃木県/東京都(多摩)/静岡県/長野県/岐阜県/富山県/福井県/石川県/京都府/兵庫県/奈良県/岡山県/山口県/香川県/徳島県/高知県/愛媛県/福岡県/大分県/佐賀県/長崎県/熊本県/宮崎県